



ことしの夏 町民プールへ行こう

町民プールのウォータースライダーが、施設の老朽化に伴い、このほど新しくなりました。特殊スライダー(写真向かって右)は延長約20m 2列、ウォータースライダー(写真向かって左)は延長約50m 1列で、総事業費は9,320万5,000千円です。

写真は初めて水を流し、試験的に人が滑ってみたところ。水はまだ冷たいときでしたが、滑りごこちは上々だったようです。町民プールのオープンは7月6日を予定しています。ことしの夏はぜひウォータースライダーでお楽しみください。



—昨年の町民プール

◇町の人口(5月1日現在) 男15,308人 女15,626人 計30,934人(前月比+34) 世帯数7,872世帯(前月比+29)

第二次八郷町国土利用計画を策定

町の発展をめざす土地利用の指針

第二次八郷町国土利用計画は、先に策定されている「第五次八郷町総合計画」の基本構想を踏まえ、町民の皆さんの健康で文化的な生活環境の確保と町土の均衡ある発展を図ることを基本理念として、長期的かつ総合的な方向を示したものです。

したがって、本計画は、当町の広大な自然環境や優れた景観の保全、そして活用をも図りながら、活力に満ちたまちづくりを展開していくための土地利用の指針でありますので、直接的に個別事業計画や土地利用規制などを決定するものではありません。

なお、本計画は議会の議決事項でありますことから平成八年の第一回定例会において、議決を経たものであります。

本計画の概要は、次のとおりです。

国土利用に関する基本構想 国土利用の基本方針

国土の利用にあたっては、自然環境の保全や優良農用地の保全・確保、歴史的風土の保全、そして災害の防止に努めるとともに、地域の特性を生かした土地の有効利用を進めながら、適正な地域開発・都市的環境の整備を図る。

なお、農用地、森林、原野等か

ら宅地への転換にあたっては、土地利用の可逆性が容易に得られないことから、総合的かつ計画的に行うものとし、今後、制度的な規制・誘導施策の検討等も含め、都市的土地利用との整合性や調和のとれた地域社会の実現を図る。



利用区分別国土利用の基本方向

一、農用地

農用地は、生産の基盤であるとともに、自然景観の形成や環境の保全等の面からも重要な機能をもっているため、これらの公益的機能の維持・増進に努める。

さらに、今後は、地域の特性に応じて、農業を振興する地域と農業以外の活用を図るべき地域を明確にしながら、農用地の保全・確保に努める。

二、森林

森林は、木材の生産、国土の保全、水資源のかん養

保健休養、自然環境の保全など多面的な機能を有しており、特に本町の森林は、霞ヶ浦の重要な水源地域を形成していることから、適正な森林の維持管理に努める。

三、水面・河川・水路

洪水や災害を未然に防止するため、恋瀬川をはじめとした主要河川の改修を促進するとともに、

霞ヶ浦上流域の責務として積極的に河川等の水質の浄化を図るため、下水道等の整備を推進する。

四、道路

道路は、町民生活の利便性の向上をはじめ、産業及び観光の振興等の社会経済活動を支える重要な基盤施設であるため、今後は、国県道及び町道の各機能を明らかにし、相互の連携を図りながら公共・公益施設などの収容機能をも考慮した広域交通ネットワークの形成を図るとともに防災機能の向上を図る。

また、道路空間の快適性にも配慮した道路の緑化や歩道の整備を推進する。

五、宅地

住宅地は、近年、都市化の進展や生活意識の変化等により自然志向が高まっているところから、今後は、住民とのコンセンサスを得ながら良好な市街地形成を図るため、用途地域設定等の都市計画制度の導入を図るとともに、土地区画整理事業等による新たな住宅地の整備を計画

的に推進する。

工業用地は、町民の雇用機会の創出及び町財政基盤の強化を図るため、柿岡地区に近接し、かつ交通条件の良い地区に工業団地などの開発を誘導し、積極的に優良企業の誘致に努める。

その他の宅地（事務所、店舗等）は、道路交通体系の整備や新たな住宅地及び工業用地の整備に対応しつつ、町の中心地に商業・業務機能の整備強化を図るため、土地利用の高度化と商業・業務用地等の計画的かつ適正な配置に努める。

用途区分別の基本方向

一、公共・公益施設用地

上水道や鹿芥焼却場などの生活環境施設については、整備・拡充が図られてきているが、下水道については、一部の地域を除いて、まだ未整備の状況にあるので、早急に下水道整備計画に基づき、必要な用地の確保に努めるとともに、施設等の整備を推進する。

文教施設は、これからの高度情報化や社会の変化・動向及び多様化する住民ニーズに対応した計画的な施設の整備・拡充を



河川の浄化には下水道の整備が必要

図るため、必要な用地の確保に努める。

道路は、町の発展を支える重要な基盤施設であるので、計画的に用地の確保に努めるとともに、これらの整備促進を図る。

二、レクリエーション用地

今後、国民所得や余暇の増大に伴い、趣味や娯楽スポーツレクリエーションに対する需要はますます高まるものと予想されるので、広く県内外の人たちにも快適な観光レクリエーションの場を提供できるよう、さらに

新しい観光資源の開発と特色ある観光地づくりに努める。

三、県土保全地域

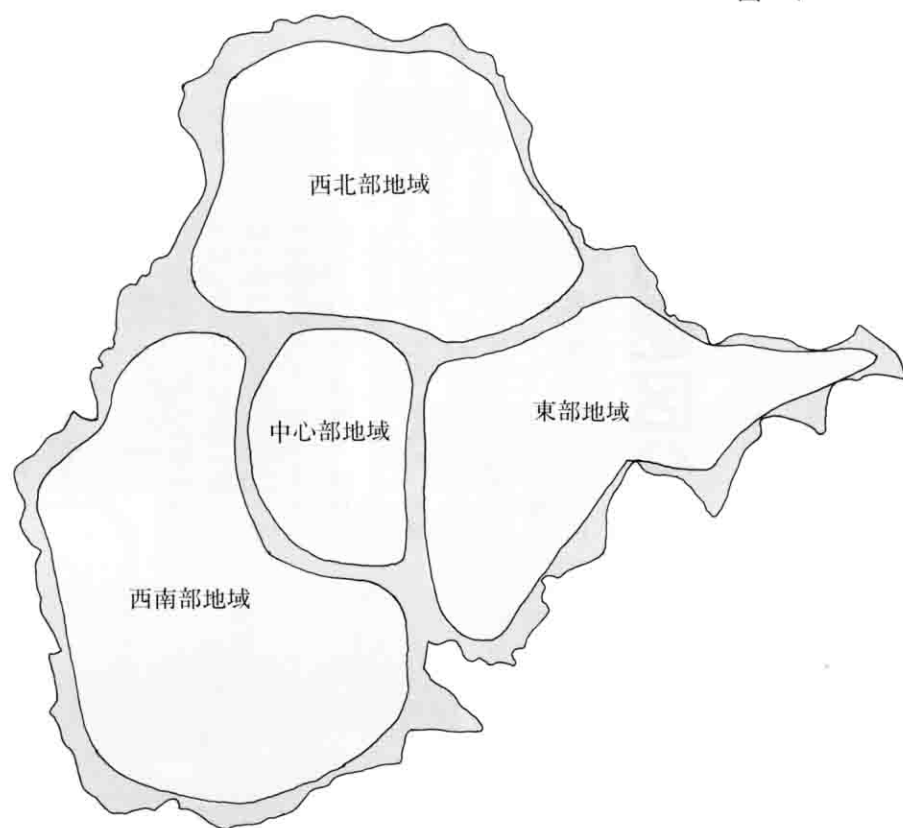
都市化の進展や生活の多様化などによって、豊かな自然環境のもつうるおいや安らぎが求められてくるものと予想されるので、これらを将来に継承するため、集落周辺の平地林などについても、さらに保全・管理に努める。また、森林のもつ機能のうち、水資源のかん養、土砂流出防止、保健休養などの公益的機能の整備・充実を図る。



アウトドアのレジャー人口が増えている中で、本町のもつ自然環境や観光資源が注目されています。今後さらに高まる需要に対応した余暇活動の場の提供が求められています。

地域区分図

図一



特性を生かす地域区分

計画の目標年次は、平成十五年としています。また、国土の利用に関して基礎となる人口と世帯数は、目標年次平成十五年において、三万四千五百人の九千九百世帯と想定しています。地域区分は、自然的、社会的、経済的及び文化的条件等を踏まえつつ、町土の均衡ある発展に配慮し、中心部、東部、西南部、西北部の四地域に区分して地域別土地利用の概要を示しています。地域区分は、図一のとおりです。

4つの地域の概要

一、中心部地域

当地域は、今後、県道石岡下館線のバイパス整備や商店街の再整備等によって、市街地構造は大きく変動していくことが予想されることから、用途地域等地域地区の指定や地区計画など、建築、開発行為に対する規制・誘導策の先行的な運用により、良好な市街地環境の形成を図るとともに、中心機能の強化、再構築を図る。



▶町の中心機能の役割をもつ（柿岡中央付近）

三、西南部地域

当地域は、水郷筑波国定公園の区域を有し、優れた自然環境が残されており、今後もこの優れた自然環境との調和を図りつつ、歴史的資源や民間レクリエーション施設とのネットワーク化を推進し、観光レクリエーション拠点としての機能を高め、都市と農村の交流の活性化を図る拠点づくりを推進する。



観光レクリエーション拠点地域として整備推進

二、東部地域

当地域の優良農用地については、保全・確保を基本としつつ、新たな住宅地としての役割をもたせていくため、これらとの調和を図りながら住環境の整備に努める。なお、当地域は、三つのゴルフ場と茨城県畜産試験場に併設されるふれあい施設を含めて、レクリエーション的機能を有する地域であることから、周辺の観光拠点とのネットワーク化を推進し、大規模なレクリエーション拠点の形成に努める。



▶住宅化が進む中にも豊かな農地を残しています

四、西北部地域

当地域は、水郷筑波国定公園の区域と吾国愛宕県立自然公園の区域が含まれた山裾の自然環境に恵まれた地域であり、この地域の近くには、北関東自動車道（仮）笠間インターチェンジの建設が計画されており、さらに利便性が高まることが予想される。このような地域の特性から、自然環境の保全を基本としつつ、新たな就労の場の確保に努めるとともに、自然環境を活用した新しい余暇・レジャー志向に対応した施設などの整備を進める。



目標達成に必要な措置の概要

○土地利用に関する法律等の適切な運用

国土利用計画法をはじめとする
土地利用に関する法律等の適切な
運用を図ることにより、合理的
かつ有効な土地利用の確保を図る。

○地域整備施策の推進

地域の特性に応じた産業の発展
と地域の生活環境整備を進めるた
め、総合的かつ計画的な地域整備
の諸施策を推進する。

○土地利用に係る環境の保全 及び安全の確保

一 土地利用の調整

優れた自然の風景その保護及び
利用の増進を図る必要のある自然
公園の他、史跡、天然記念物や自
然と一体化している文化財または、
集落の周辺に散在する農地や平地
林については、周辺関連地域を含
めて、地域開発との調整を行ない
ながらその保全・活用に努める。

二 開発行為における環境 影響評価の実施

貴重な自然環境や良好な生活環

○土地利用転換の適正化

一 農用地の利用転換

農用地の利用転換は、非農業的
土地利用との計画的な調整を図り
つつ、無秩序な転用を抑制し、優

境を確保するため、必要に応じて、
開発事業主体による環境影響評価
を実施し、公害や災害を未然に防
止するとともに、必要な緑地等の
保全を図る。

三 環境、防災、公害対策 に配慮した土地利用

地域社会の安全確保と不効率な
公共投資を防止するため、企業誘
致や住宅開発については、環境
防災、公害対策に配慮する。

良農用地が確保されるよう十分配
慮する。

二 森林の利用転換

森林の利用転換は、森林のもつ



計画的な開発による調和のとれた生活環境の整備

公益的機能に十分配慮し、周辺の
土地利用との調整を図る。

三 大規模な土地利用転換

大規模な土地利用転換は、地域

○土地の有効利用の促進

一 農用地

農用地については、生産基盤の
整備を計画的に推進するとともに、
農用地の有効利用を図るため、優

良農用地の流動化を促進し、中核
農家の経営の規模拡大を図る。

二 森林

森林については、森林法の適切な運用を図りながら、森林のもつ公益的機能を十分に発揮できるように保全と整備に努める。

三 水面・河川・水路

水面・河川・水路については、

災害の防止や利水等を図るため、計画的な改修・整備を促進するとともに、水と親しめる空間づくりなどに努める。

四 道路

道路については、周辺市町村との連携を強化する広域的道路ネット

トワークの整備を図るとともに、上曽峠、朝日峠など地域間の交流を分断している区間の道路整備について具体化を促進する。
町道等については、町内の生活ネットワークの形成に十分配慮した道路整備計画を策定し、計画的

な道路整備を推進する。

五 宅地

住宅地については、町の開発指導要綱をはじめ、制度的な土地利用の規制・誘導施策の実施により、無秩序な開発を防止する。

中心市街地については、用途の混在化を避けた快適な居住環境の整備を計画的に推進するとともに、土地区画整理事業などの整備を進めながら、良好な住宅地の供給に努める。

また、工業用地については、フルツライン沿いに周辺の自然環境に十分配慮した用地の造成を推進し、優良企業の誘致に努める。

○国土利用に関する

調査の推進

国土利用の実態を把握するため、国土調査を引き続き推進するとともに、都市計画基礎調査などの国土の基礎的な調査を推進する。

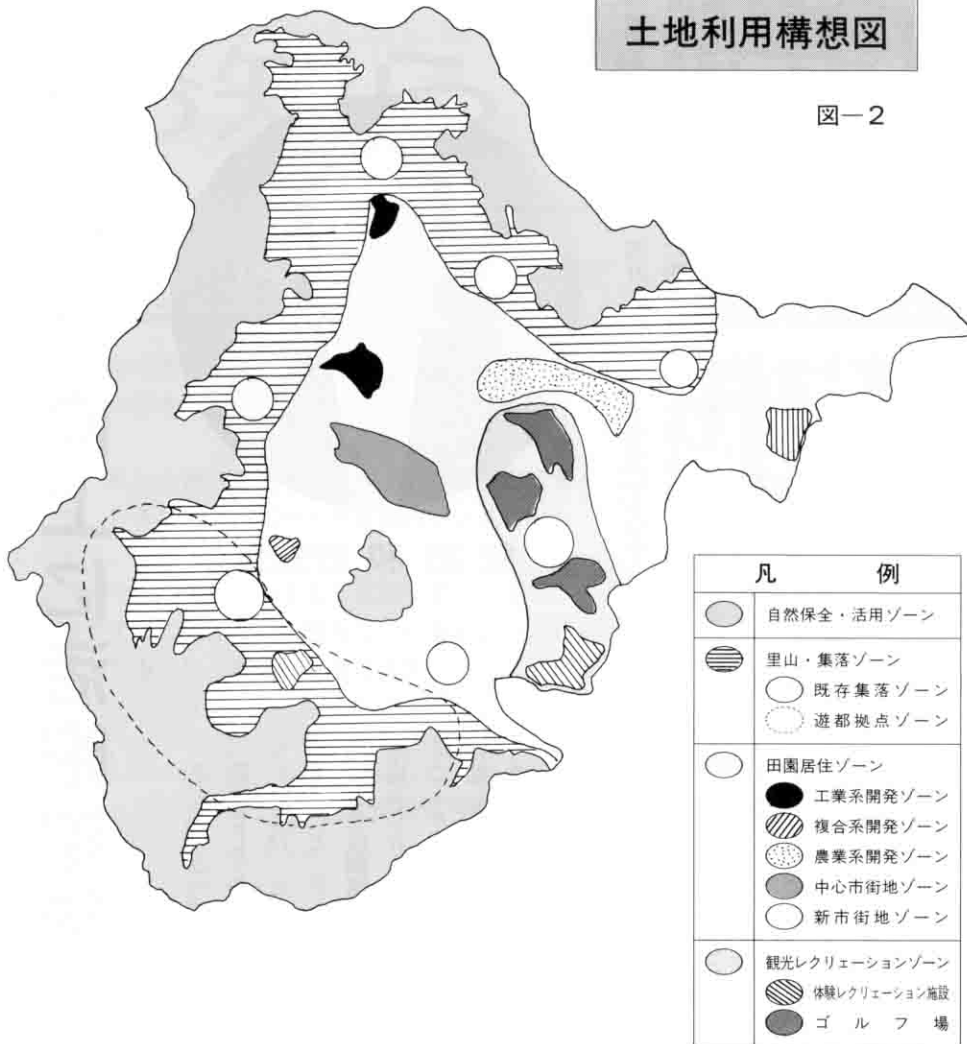
また、国土の適正な利用について、町民への情報提供に努める。

以上が第二次八郷町国土利用計画の概要です。

町民の皆さんの健康で文化的な生活環境の確保と町土の均衡ある発展をめざして町づくりを進めていくため、より一層のご理解とご協力をお願いします。

土地利用構想図

図-2



▶笠間方面への連絡に重要な役割をもつ県道土浦笠間線



シリーズ 元気はつらつわれらの先生 ②

町の教育向上に活躍期待



飯田 和行先生

今回ご紹介する先生は、四月一日付けで、町の教育委員会に指導主事として着任された飯田和行先生です。

飯田先生は、町内の小幡にお住まいで、三月まで東成井小学校に教頭先生として勤務されていました。教員歴三十五年という経験豊かな先生です。

指導主事の配置は、町の教育行政の中では長い間望まれていましたので、今回実現したことにより、これから町の教育内容の充実に期待は大きいといえます。そのような中で先生は、「町として初めての体制で四月にスタートしたばかりですので、近隣市町村のようす

なども参考にしながら仕事のすめ方を考えているところです。いまはまず、学校現場とはまた違った職場の雰囲気にも早く慣れ、仕事の内容を皆さんに知ってもらおうように努めたい」と新たな職場での心境を語っていました。

飯田先生の指導主事としての大事な仕事の一つには、学校を訪問して、教育内容についての指導や助言ということがあります。これは、授業をどのように進めれば子どもたちがよく理解できるのかなど学校現場の先生方と一緒に考えたりアドバイスしたりします。

「子供たちがよりよい学校生活が送れるように側面から援助して

いきたい」という抱負とともに、「教師として心がけなければならぬことは、ビジョンをもって努力すること、そして子ども、父母同僚との信頼関係をしっかりとつくり協力し合える関係をつくっていくことが大事なことでは」と先生は話していました。

また、子どもたちに対する気持ちとしては、「日常生活の中でのあいさつを大切にして、人への思いやり、何かしてもらってうれしかったときの感謝の心や人にもしてあげるといふ気持ち忘れずに」と身近かなことを大切にして欲しいということでした。

いま、子どもたちにはどんな状況におかれても、たくましく生きて行ける力を身に付けることが求められています。学校、家庭、地域それぞれが役割を担い、さらに信頼関係のうえに立つて協力し合

い、たくましい子どもたちを育てる教育も重視されています。これから、ハード、ソフト両面のバランスのとれた町の教育向上に、飯田先生の豊かな経験を生かした活躍が期待されます。

町長と

ひざを交えて



四月二十六日、高齢者センターで八郷町後継者結婚対策協議会の平成八年度総会が開かれました。この中では、結婚相談員二十名の皆さんに委嘱状が交付されました。相談員さんは次の方々です。市村道（柿岡）森和久（柿岡）岩本勲次郎（須釜）飯島晋（細谷）市村吉正（小幡）植竹公（上曽）植木てふ（小倉）飯田忠一（鯨岡）吉田茂（中戸）友部正一（大塚）比企信夫（小堀）桜井栄（瓦谷）長谷川政雄（東成井）大槻肇（宮ヶ崎）岩



後継者の結婚対策には多方面の協力が必要です

瀬彰（山崎）中野次男（下林）白井富喜江（下林）岡崎和雄（下林）田上源造（青田）岩田基男（平田）（敬称略）相談員の皆さんには、農業をはじめ各方面の情勢が不安定な中で町の明日を担う後継者の結婚対策に活躍いただくものです。なお、昨年度の結婚成立の地区別状況は、柿岡八件、小幡一件、恋瀬一件、瓦谷一件、園部三件、林二件、小桜三件の合わせて二十一件でした。町長はいさつの中で、「後継者の結婚問題は、農業はじめ町の将来を考えると解決すべき重要な課題です。相談員の皆さんのご尽力に感謝するとともに、今後ともご協力をお願いいたします」と述べました。結婚相談は、五月から翌年三月まで、毎月十八日（土曜日）の場合前日、日曜日の場合前々日（を定例相談日として紹介や情報交換などが行われます。

魅力ある八郷をつくる話し合い

昨年度からスタートした「まちづくり出前懇談会」。ことしで二年目を迎えました。

出前懇談会は、町民の皆さんと意思の疎通を図り、さらに住みよい八郷町を作っていくことが目的で始まりました。「対話と参加による心のかよったまちづくり」を柱に皆さんとの話し合いを進めていきます。

以前行われていた行政懇談会は、行政側が場所や日時を設定し、住民の皆さんに出席していただく、という形でした。それに代わる出前懇談会は、住民の皆さんでグループを作っていただき、場所や日時、テーマなどを決めてもらって、行政側がそこへ出向く、という形を取らせていただきました。

昨年度は芦穂・戸の内三・佐久の三つの地区で出前懇談会が行われ、魅力あるまちづくりに向けて話発な意見が交わされました。

農業・環境・教育その他町政の中から、皆さんが話し合いたいテーマを選んで申し込みをしてください。町から、町長はじめ関係する課の職員が出向いて、施策や予

算内容などの説明をしたり、ご意見やご要望をお受けしながら、今後のまちづくりについて話し合いをします。

ふだんなかなか役場へ出向けない、町の仕事について意見を述べる機会がないという皆さんは、ぜひこうした機会をご利用ください。

「魅力あふれる八郷をつくるにはどうすればよいのか」、皆さんの建設的なご意見や提言をこれからのまちづくりに生かすためにも積極的な参加をお願いします。

◎対象
町民十〜二十人程度のグループ

◎内容
町政全体の中から申し込み者がいくつかのテーマをきめる。

◎町側出席者

町長および町職員（内容により関係する職員が出席します）

◎場所

申し込み者が準備してください。（個人宅または最寄りの集会施設



ことしの3月に行われた佐久地区での出前懇談会

などを借りてください

◎開催日及び回数

希望により、日程を調整して決めます。開催期間は随時ご相談に応じます。

◎時間

一回の懇談会は二時間を限度とします。

◎申し込み方法

申し込み書を秘書広報課に提出してください。なお、事前に日程など、電話で問い合わせてください。☎四三二一一一内線一三四一・一三四二

花と緑の楽園



茨城県

フラワーパーク

園芸教室

バラ新苗の植えつけ

バラの植えつけは、冬と春の二回あります。四〜五月になれば、新しく植えつける苗木は、冬の間の大苗から新苗（春苗）に変わります。

植え穴は直径四十センチ、深さ五十センチの穴を掘り、その底に堆肥をスコップ二杯と油粕骨粉、過リンサン石灰を各二百グラムずつを加えて、掘り上げた土をスコップ三杯くらい入れて、よく混ぜあわせます。

ビニールポットに植えてある

苗は、土をくずさないようにポットから抜き、穴の中に入れまします。切り接ぎの接ぎ目が地表の土と同じになるように苗を落着かせ、掘り上げてあった土を入れて、根元が少し山になるように、手で軽く土をおさえます。そのあと、バケツ二杯の水を



静かにそそぎ、水がひいたら接ぎ目がややかくれるくらいに、もう一度土をかけてやりまします。

苗は五枚葉の上のところまで新芽を切りつめ支柱を立て結束しまします。何本も植える場合は、苗と苗との間隔を八十センチ〜一メートルくらいとりまします。

水やりは土が乾くようなら二〜三日おきに、たっぷりかん水しまします。根づいたら、晴天が続くときは週一回ぐらいかん水しまします。

蕾が出始めたなら、葉を二枚ぐらいつけて早めにつみ取りまします。新苗は春には花を咲かせず、秋まで開花を待つことになりまします。芽が動き出せば、化成肥料をひとつかみぐらい一か月に一回ぐらい追肥しまします。

フラワーパーク園芸課 檜山

柿岡地区公民館

柿岡地区公民館は館長を中心に、運営委員や婦人会の皆さん、地域の皆さんのご協力のもと、活発な活動が行われています。本年度は始まったばかりなので、昨年度の同公民館主催の活動を紹介します。合同の祝いとして、敬老会が九月十五日に、七五三の祝いが十一月十五日に、柿岡小学校体育館で開催されました。敬老会には排禍雛子や、婦人会の皆さんによる踊りなどが賑やかに行われました。

また、文化祭は十一月十八・二

ふれあい 地区館活動

十日にふれあいまつりと共催して行われ、絵画や書道、写真など十数種の展示会が開催されました。こちらも皆さんのご協力で盛大に行うことができました。

その他レクリエーションとして、歩く会を十一月三日に行いました。

生涯学習めざし 充実した公民館活動を



排禍雛講座の成果を発表する子どもたち

自然を愛し、健康を増進するために企画されたもので、参加者八十五人が真壁町の薬王院まで元気に行われ、運営委員と婦人会役員が栃木県蔵の町へ行ってきました。この様な活動のほかに、生涯学習講座として、片野排禍雛子講座や漬物講習を行いました。排禍雛子講座は四月から八月にかけて十八回ほど行われ、一般から募集した小学生二十人が参加しました。これは無形文化財保存のため、後継者を育成しよう企画されたものです。これまで、二回ほど学習

した成果を発表したが、いずれも好評でした。「皆さんが学びたいこと、やりたいことがありましたら、仲間と一緒に講座、講習会、講演会など柿岡地区公民館活動にぜひご参加ください」と館長の川井芳郎さんは活動への参加を呼びかけます。なお、柿岡地区公民館からお願いがあります。広報に目を通し、集落公民館を有効に利用してください。また、親と子の公民館活動に進んで参加し、家庭内で話し合いをしてください。よろしく願います。

●最近気になる病気

慢性疲労症候群

石岡市医師会病院

副院長 藤井 茂樹医師



最近疲れやすくなった、風邪がぬけきれなくて微熱、咽頭痛が続く、といった症状は誰でも一度は経験されたことがあると思います。病院にもそんな症状で来られる方がよくいます。ただ治療を受けても改善せず、徐々に仕事に対する意欲が低下したり、登校できなくなり、日常生活にも支障をきたすとなると問題です。いろいろな検査をしてもあまり異常が無いため、心身症ではないかと、本人や家族の方が悩んでいるケースもあります。

状態も参考になります。誰もが少しは思い当たる一般的な症状が多いのですが、検査をしても他に考えられる病気が見当たらない場合、この疾患の可能性があるということです。

原因についてははっきり判明していません。EBウイルス、エンテロウイルスなどのウイルス説、免疫異常との関係、先天的要因説などが疑われていますが、まだ研究の段階です。

治療は以前は抗ウイルス薬なども投与されたこともありましたが有効ではなかったため、対症的に治療を行っているのが現状です。

ただ、この疾患は進行するといふことがあまりなく、自然に徐々に改善していくことが多いようです。予後的にはけつして悪くないといわれていますので、その疑いがあるといわれても、あまり心配しすぎないようにしてください。

逆に眠気が一日中続くという症

わたしの手料理

納豆入り春巻



食生活改善推進員 飯塚千代（下林）

材料（4人分）

納豆240g プロセスチーズ80g ピーマン6個
春巻の皮12枚 調味料A（塩ひとつまみ こし
しょう少量 しょうゆ小さじ4） 小麦粉大さじ
2 揚げ油

作り方

- ①納豆に調味料Aを加えて混ぜる。
- ②チーズは細切り、ピーマンは縦半分に切って種を取りせん切りにし、ともに納豆と混ぜる。
- ③春巻の皮を広げて②の具を手前に置いて巻き、小麦粉を同量の水で溶いて巻き終わりに塗ってとめる。
- ④170℃の揚げ油で春巻を3～4分カラリと揚げ、斜めに切って盛り、好みでからししょうゆで食べる。

わが家COYDL



浦須

磯山友里ちゃん

父 好夫さん 母 桂子さん

平成7年4月9日生まれ

家族からの一言

お姉ちゃんやお兄ちゃんが歌を歌っていると、一緒になって「アーアー」と声を出したり、手を振ったりして喜んで遊んでいます。また、「ゆりちゃん」と呼ぶと「はい」と返事をして、家族を楽しませてくれます。健康で優しい子に育ってほしいと思います。

農村資料館

八郷の民俗資料

②



石臼

臼は食料調整のための重要な道具であったから、多くの俗信と儀礼が伴って神聖視されている。所にもよるが、一般の農家では臼を母屋の土間の黒柱のそばに置き、大切に取り扱い、家を新築したときや火災など不慮の災害時には、まず白から先に運び出している。また、葬儀の折、出棺後の掃除は臼を転がしてから行い、野辺送りをすませて帰ると臼を伏せた上に塩を置き、身を清めてから家に入る。正月行事にも、歳神を迎える祭壇として臼を使用し、これに鏡餅や若水を供えたり、臼を伏せてその年の吉凶を占ったり、仕事はじめに臼をおこして餅をついたりする習俗があり、その他に杵とセツトで婚姻・出産・育児などに関する習俗も行われている。

臼の機能からいうと、大別して、搗白（つきうす）と挽白（ひきうす）、そして磨白（すりうす）になる。ここに紹介する石臼は磨白の一種である。構造上は上臼と下臼からなり、下臼は固定し、上臼が下臼の心棒を軸として回転する。上臼の穴から入れた原料（穀殻を除く）は上下両臼の接触面に作られた歯の摩擦によって粉末にされる。

石臼は日常の食生活を支えてきた身近な製粉用具として、近世以降重用されてきたが、貴重な食文化の遺産も、戦後の電化製品の普及に伴って、忘却の彼方に追いやられてしまったのが現実である。

臼の起源をたどると、その祖型は古く縄文時代の石皿とすり石に求めることができる。つまり、かなり大型の扁平な石塊の表面に楕円状の浅いくぼみをつくり、

そこに果実や根菜などを置き、すり石の円運動によって粉末をつくって食料としていたが、これは実生活の中から生まれてきた自然の工夫といえよう。

これが弥生時代に移行すると、木製の臼と杵が導入されるようになった。静岡市有東遺跡から高さ五十 cm ほどの木製の臼が出土しており、また香川県内出土と伝えられる銅鐸には、二人の人物が臼を中にして杵をふるっている図が見られるから、この時代に木臼が脱穀用として広く使われていたことは明らかである。

搗白は、一般に、東南アジアからインドネシア、さらにわが国にかけて、水稲栽培とともに普及したものと考えられている。

八郷町文化財保護審議委員 西宮一男



みあの



SIGNAL



佐伯比呂



吉生 田中裕子 (12)



月岡 萩原志づ

防 災無線ですが、はば広くいろいろなジャンルで、音楽を取り入れた方がいいのでは？月ごとに変えて

瞬でも、いやな事も何もかも忘れて聞かせておきます。 下青柳 富田静

防

災無線機から流れる夕方の「夕やけこやけ」のメロディーを懐かしく聞いておられます。夕方五時近くになると、いつの間にかメロディーの聞こえる所に来ておられます。たとえ一瞬でも、いやな事も何もかも忘れて聞かせておきます。 下青柳 富田静

で大いに助かります。

真家 玉造礼子(58)

私

私たちの住んでいる八郷町で防災行政用無線が四月から通信開始になる事を知りました。身も心も安心して、防災に備えて心構えができるので大いに助かります。

私も

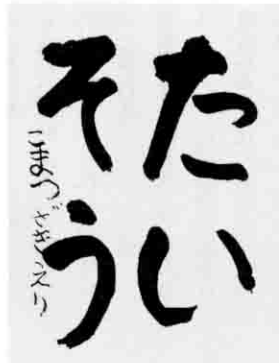
ひとこと



いく方法はどうでしょう。いつまでもあきのこない様に。 宇治会 入江篤 ♣ 防災無線について、この他にも皆さんからの貴重なご意見をいただきました。ありがとうございます。時報のときの音楽についてですが、季節ごとには替えたいと思っています。さて、防災無線は災害などの緊急のときはもちろん、普段のお知らせにも使わせていただいています。この間、住民の方から、防災無線で「おくやみ」の放送をしたらどうかとの電話がありました。個人のプライバシーにも関することなので、町としても慎重な対応が必要かと思われまふ。皆さんのご意見をお聞きしたいと思っています。反対または賛成どちらでもかまいませんので、広報係

評 玄潮会 森 浩亭

柿岡小二年 こまつさきえり



気どらず、子どもらしく書けました。

柿岡小六年 菊地由香里



静かに丁寧な運筆で、やさしい作品です。

私

は生まれも育ちも八郷町。二十歳の頃は、こんなへんぴな所と思っていましたが、今は、自然がいっぱいで、子どもが育つ環境としては最高だと思っています。

吉生 土佐八千代(34)

♣ 子どもたちには豊かな自然のなかで、のびのびと育ってほしいものです。それには、私たち大人が美しい環境を維持していかなくてはと思います。

広報係

フラワーパークの入園券
とふれあいの森乗り物券が
ペアで当たるよ

広報クイズ 98

3つの答えの中から正解を選び
ハガキに書いて送ってください。

①町民プールのウォータースライ
ダーの総事業費は？

- (A) 7,320万5千円
(B) 8,320万5千円
(C) 9,320万5千円

②今月(5月)号の特集は？

- (A) 八郷町総合計画
(B) 平成8年度予算
(C) 国土利用計画

③新しく始まった「ふれあい地区
館活動」、今月号の地区公民館は？

- (A) 小桜 (B) 柿岡 (C) 園部

【応募の方法】

☆ハガキに広報クイズ98と書き、
答えの記号(例1-A)、住所、氏
名、年齢、世帯主と「私もひとこ
と」へのご意見や広報の感想など
を書いて送ってください。イラスト
やマンガも大歓迎。

☆全問正解者の中から10名に、ペ
アでフラワーパークの入園券とふ
れあいの森の乗り物券をプラスし
てプレゼントします。

☆締切日 平成8年6月15日

☆応募先 〒315-01 八郷町柿岡
5680-1 八郷町役場秘書広聴課

☆当選者の発表 本紙7月号

【広報クイズ96の当選者の発表】

正解は1-C、2-A、3-Aでした。
応募総数49通、正解47通の中から
次の10名が当選しました。

入江篤(宇治会) 杉山はつ(柴間)
土佐八千代(吉生) 飯塚美恵子(下
林) 富田静(下青柳) 仲原由香里
(川又) 入江千恵子(大増) 玉造
礼子(真家) 平宣子(柿岡) 飯塚
恵美子(下林) [敬称略]



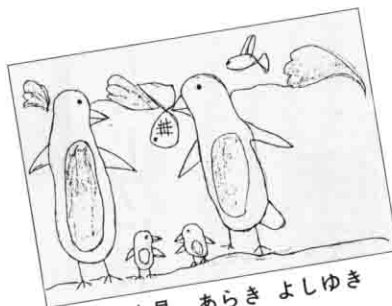
荒木美香



みやま 結城



柿岡 小松崎敦子(11)



小見 あらき よしゆき

●やさと文芸

短歌

吉田次郎選

こいのほり男子誕生のよろこびが孫の代にて夢かなうとは

山崎 荒井 弘子

裏筑波の山懐の寺の鐘朝な夕なに里に刻告ぐ

吉生 土佐 信司

思い出の可憐なる花紫のカタクリ咲きぬ山あいの春

東成井 鴻巣 益子

俳句

綿引鼓峰選

訪ふ人もなき荒寺の桜かな

吉生 土佐 汀 風

鶯に目覚めて旅の紅を引く

瓦谷 山崎 けい子

せせらぎの間近に聞こゆ蓬つむ

弓弦 助川 くに

俚謡

鈴木弦月選

思いがけなく吾が家に春が孫の良縁本決り

上 曾 足 立 喜一郎

水子地蔵の小さな命悔も新たな小夜時雨

下 林 白 井 富喜江

知らぬ名前の小鳥の群が軒にかなでる早春譜

大塚 友部 ゆき江

やさメモリー



子ども釣り大会が柴間池で行わ
れたときの様子です。小さな太公
望たちが釣りを楽しみましたが、
獲物はとうだったでしょうか。

(昭和三十五年五月)

「まち」の「話題」で「き」ごと

身近な出来事や地元の
話題をおよせください
(連絡先・秘書広聴課内線一三四三)



今日からピッカピカの一年生

町内各小学校の入学式が四月六日に行われ、三百十四人の新一年生が誕生。ここ園部小学校でも三十二人の新入生を迎えました。同小学校は児童数の増加に伴い、昨年五月から校舎の増築工事が

行われていましたが、このほど完成し、四月からは新しい教室で二、五、六年生が学んでいます。増築された校舎は工事費二億三百六十一万円、鉄筋コンクリート三階建、延べ床面積八一八㎡です。

田中さん、日本水墨画展で新人賞

瓦谷の田中拡(のり)さんがこのほど、第二十九回日本水墨画展で新人賞を受賞しました。この展覧会は毎年、日本水墨画協会の主催で開かれているもので、全国から多数の作品が寄せられました。田中さんは九年前、公民館講座で水墨画を学び、その後水墨画同好会に所属、日本水墨画展ではここ数年入選を果たしていました。

受賞作は『渾身の妖精』と題し、尾瀬に咲く水芭蕉を描いた作品です。田中さんは、尾瀬を撮影した写真を何枚も見ながらイメージを膨らませていったとか。一枚の水墨画を書くのに、何枚も下書きを繰り返したそうです。なお、この作品は特別養護老人ホーム「やさと」へ寄付されました。



フラワーパークにドツと4万人

茨城県フラワーパークはゴールデンウィーク中、四万人をこえるお客様を迎えました。恒例のボタンまつりは低温のため花の見ごろには少し早かったものの、キャラクターショーやミニS.L.など楽し

い催しもあり、園内はボカボカ陽気に誘われた家族連れなどで賑わいました。なお、五月二十五日からはバラまつりが始まります。様々な催しが盛り沢山のフラワーパークへぜひお出かけください。



ときめき
ティータム

吉田祐子(中戸・20歳さん)

四月から幼稚園に勤務しています。毎日大変ですが、子どもたちと接するのはとても楽しいです。



ありがとう

ぐやこます

○小桜小学校へテント一張

小桜小平成七年度卒業生

保護者一同

○小学校新入生全員へ「セーフティハンド」

(株)茨城県トラック協会



相田さんに晴れの栄誉

春の叙勲で、小見の相田勇一(72)さんが勲五等瑞宝章を受章しました。

相田さんは主に東京の小学校で、三十八年の長きにわたり教育の向上と発展に尽くされました。その間、全国公立学校教頭会の会長を務め、その組織の拡大・充実を図りました。そのかたわら日本教育会の常任理事として、同会の振興のため活動基盤の推進に尽力され、また国立教育会館の評議員として、国会陳情を精

力的にするなど、幅広く活躍されました。「今考えると、その頃の国会議員の方々へのお願いや陳情、全国を飛び回った教頭会活動とともに多勢の先輩同僚との出会いなどが懐かしく思い出されます。このたび私が受けた叙勲の栄誉は、当時の私をとりまく多くの方々の苦勞に対して、私が代表して戴けたものであると考え感謝しています」と相田さんは受章の喜びを話されました。

めだか教室で、のびのび子育て

めだか教室の第一回が五月七日、保健センターで開催されました。これは近所に遊ぶ友達がいない、育児の相談相手がないなどの心配をお持ちの、二歳児の親子を対象にした遊びの教室です。五月から来年の三月まで月に一度開かれます。

教室には十五組の親子が集まり、親子体操や粘土遊び、簡単なおもちゃ製作などを一緒に行いました。最初戸惑い気味だった子どもたちも、だんだん生き生きとした表情に変わり、親子で楽しい時間を過ごしました。



サッカー大会で熱戦が展開

第三回八郷町サッカー大会が四月十四日、総合運動公園で開催され、快晴のもと、七チームが参加しました。

今回は、消防署員によるチームの初参加もあり、始終熱の入ったエキサイティングなプレーが展開されました。また、前大会に優勝したブラジル選抜チームも

一回戦で負けるなど各チームの技術の向上が特に印象に残った大会でした。
〔結果〕▼優勝フルムスターズ▼準優勝ウインズ▼敢闘賞新治消防

なお、七月二十一日に総合運動公園にて第一回八郷町フットサル(ミニサッカー)大会の開催が予定されています。



軟式野球大会結果

★春季町民野球大会(4月14日、21日に総合運動公園で開催)

▽優勝マッドミヤーズ▽準優勝八郷町役場▽三位丸加精機・トラッカーズ

★体育協会会長杯大会(4月28日に総合運動公園で開催)

▽優勝アラジン▽準優勝アストロ▽三位トラッカーズ・八郷町役場



今月号から、いきいきグループ活動紹介のコーナーが、各地区の公民館活動の紹介に変わりました。各地区公民館は、地域での生涯学習活動の中心として、さらにさまざまな活動を通して地域のコミュニティづくりに大きな役割を果たしています。これからシリーズで、各地区の特色ある活動など紹介して行きたいと考えています。ところで、最近野犬が増えているようです。放し飼いでいるうち逃げたとか、生まれた犬を捨てたとかが原因。社会的ルールやモラルの保持は共同社会の原則。近隣関係を大切にして、住みよい地域づくりを望みます。(市)

農村資料館オープン

昔懐かしい生活用具を多数展示

かねてより館内の整備が進められていました「農村資料館」が四月二十三日、開館しました。この建物は旧大増小学校校舎の一部を改造して、昨年三月に完成していたものです。その後、住民の皆さんに古い用具類の寄贈をお願いし、寄せられた用具は三百にのほりましました。それら用具類の整備や整頓が終了し、このほど開館の運びとなったものです。

館内に足を踏み入ると、所せましと並べられた用具が目に入ります。昔懐かしい日用品や飲食用具、昔の農作業に欠かせなかった農具など、十三のコーナーに別れ、それぞれに貴重な資料が置かれていきます。郷土の特色と、町の歴史の流れを裏付ける民俗資料を、ぜひご覧ください。

農村資料館メモ

◎住所
八郷町大字大増一五一九
(旧大増小学校跡地)

◎事務局及び連絡先
八郷町教育委員会生涯学習課
八郷町大字柿岡五六八〇一
☎四三一一一一
内線一二七一



農村資料館を訪れた方々は、「懐かしいね」「よく残っていたこと」などと、興味深げにさまざまな用具に見入っていました。

見学される皆さんへ

1. 会館時間 午前9時から午後4時30分
2. 休館日 毎週月曜日・祝祭日
年末・年始(12月28日～1月4日)
その他必要と認めた時
3. 入館料 無料
4. お願ひ ①館内は静かに参観し、職員の指示に従ってください。
②展示物には、手を触れないでください。
③館内の禁煙にご協力ください。
④右側のコーナーから順序よく見学してください。

★見学希望者は、事前に生涯学習課へご連絡ください。

○土・日曜の見学者は、月曜～金曜の午後5時までにご連絡ください。

○平日の見学者は、事前に又は当日の午後3時30分までに、ご連絡ください。

